

兵庫県知的障害者施設家族会連合会

第41号

ひょうごかぞくねっと

【事務局】〒650-0016 神戸市中央区橋通3丁目4-1 総合福祉センター 2F Tel (078)371-3930/Fax (078)371-3931(9:00~17:00 月~金)
平成30年4月15日発行 第41号 編集人/広報委員会 発行人/兵庫県知的障害者施設家族会連合会 印刷/デジタルグラフィック㈱

「我が事・丸ごと」地域共生社会

ひょうごかぞくねっと 会長 由岐 透



昨年は神戸開港から150周年を迎えました。また今年には兵庫県誕生から150周年の節目を迎えます。このような節目の年に全国知的障害者施設家族会連合会の第14回全国大会を兵庫県が開催県として

10月23、24日に神戸市で開催することに決定しました。兵庫県知的障害者施設家族会連合会では全国大会を成功させるため、第14回全国大会実行委員会を組織し、昨年10月から取り組み鋭意準備を進めています。会員皆様のご協力お願い申し上げます。

さて、知的障害者福祉を取り巻く状況は大変厳しいものがあります。厚生労働大臣の下に、「我が事・丸ごと」地域共生社会実現本部が設置され、実現本部の下に、「地域力ワーキンググループ」「公的サービス改革ワーキンググループ」「専門人材ワーキンググループ」を置き議論をとりまとめるとあります。

「我が事・丸ごと」地域共生社会実現本部設置の趣旨を次のように述べています。①既存の縦割りシステムには課題が生じている。②一億総活躍社会が進められる中、福祉の分野においても、パラダイムを転換し、福祉は与えるもの、与えられるものといったように「支え手側」と「受け手側」に分かれるのではなく、地域のあらゆる住民が役割を持ち、支え合いながら、自分らしく活躍できる地域コミュニティを育成し、公的な福祉サービスと協働して助け合いながら暮らすことのできる「地域共生社会」を実現する必要があります。③「地域共生社会」の実現を今後の福祉改革を貫く基本コンセプトに位置づけ、まずは2017年の介護保険法の改正、2018年度・2021年度の介護・障害福祉の報酬改定、さらには2018

年度にも予定されている生活困窮者支援制度の見直しに向けて、部局横断的に幅広く検討を行う。

このような構想の下に、社会福祉法人改革「地域包括ケアシステムの強化のための介護保険法等の一部改正する法律」いわゆる「地域包括ケア強化法」が成立し、今年2月に障害福祉サービス等報酬改定の概要が示されました。

「地域共生社会」の実現に向けて(当面の改革工程)には介護保険に「共生型サービス」を創設する。障害福祉制度の現行の基準該当の仕組みについても、報酬において障害支援区分を勘案していない等の課題に対応するため、障害福祉制度に「共生型サービス」を創設する。これにより介護保険又は障害福祉のいずれかの指定を受けた事業所が、もう一方の制度における指定を受けやすくする見直しを行う。また、2018年の介護・障害報酬改定において「共生サービス」の創設に伴う基準・報酬について必要な対応を行う。2020年初頭までに公的サービスだけに頼らない社会の実現が示されています。引き続き社会保障「改革」のなかで公的サービスから除外される人々がさらにつくり出されようとしています。障害、生活困窮、引きこもり、保育所落選等々社会で生きづらさを抱えている人々と共に学び共に生活する(暮らす)ことを共生と言い、この社会を共生社会というのだと思います。ソーシャルインクルージョンだから共生型(障害福祉と介護保険を一体化する)の共生は“強制社会”です。

私たち知的障害関係者は「茹でガエル」にならないよう社会保障・社会福祉は誰の責任なのか、憲法・障害者権利条約に照らし合わせて、あらためて問い直す必要があります。

中央研修会 12月4日 県民会館大ホール

やさしい社会を明石から ～ハードも大事、ハートも大事～ 明石市における福祉の動向について

明石市長 泉 房穂氏

1. 自己紹介

泉 房穂

1963年 兵庫県 明石市生まれ
 東京大学教育学部を卒業後
 NHKディレクターを経て、弁護士に
 2003年 衆議院議員に当選
 2007年 社会福祉士の資格を取得
 2011年 明石市長に就任（現在2期目）
 柔道3段、手話検定2級
 明石タコ検定初代達人



2. 誰もが暮らしやすいまちの実現に向けた5つのSTEP

1step 手話言語の確立

2step 多様なコミュニケーションの促進

1と2をセットで明石市の手話言語・障害者コミュニケーション条例の制定（H27.4月施行）
 ～障害者も安心してまちに出かけられるやさしいまちにする～

3step 障害者差別解消条例の制定

4step 合理的配慮への公的助成

3と4とをセットにして 明石市障害者配慮条例をスタートさせる（H28.4月スタート）
 障害のある人もない人も地域で安心して暮らせる共生のまちづくり条例で
 事業者や地域の団体と一緒に取り組む
 ・点字メニュー ・コミュニケーションボードの作成 ・折りたたみ式スロープの設置
 ・簡易スロープや手すりなどの工事施行
 障害のある人に必要な合理的配慮を提供するために、かかる費用を市が助成する

5step 誰もが暮らしやすいまちへ

①やさしいB-1グランプリin明石を開催（平成29年11月25・26日）

～子どもから大人まで すべての人が楽しめるイベントを～

初日に8万2,000人が訪れた ～障害者団体もボランティアでおもてなし～

②更生支援

失敗してもやり直せる「おかえりなさい」のまちへ
 罪を犯した知的障害者、認知症高齢者に対する支援
 就労支援、福祉的支援、立て替え支援金制度の導入

③里親100%プロジェクト

④JR明石駅のホームドア早期設置への取り組み ～まちが一丸となって～

3. 共生社会ホストタウンに向けて

明石市が全国のモデルとなるよう障害当事者等団体連絡協議会との意見交換会（H29年8月）

市の職員を対象に知的障害者について理解する研修会を開催（H29年10月）

こどもユニバーサル交流会 → 障害のある人もない人もみんな一緒にもの作りやゲームで交流

2020年のパラリンピックを契機に共生社会の実現へ「まち」と「心」のバリアフリーを



4. 福祉の充実をまちの発展につなげる

①人口の増加…4年連続人口増 → 平成30年に30万人突破へ

②税収の増加…H24年とH29年を比較すると、納税義務者が6,700人増え課税額が6億4,000万円増加

③基金残高回復…H24年 69億円 → H28年 86億円（7年で17億円増加）

障害のある人もない人も「暮らしやすい」「住んでよかった」と思えるまちづくりを進めていく過程でまちの発展と拡大につながる 好循環サイクルが生まれている。

5. 市長としての熱い思い

『支援が必要なすべての人に、その人が支援を必要とする時に必要な支援をみんなで』

障害者が暮らしやすい社会をつくるのは行政の責任…国だけではなく市 → 責任者は市長

西中播磨かぞくねっと

赤穂精華園 保護者会副会長 村田暉彦



印刷物作成に関するご相談は.....

DG デジタルグラフィック株式会社

- 記念誌 ● 社内報 ● カタログ ● チラシ ● プリペイドカード
- スクラッチ ● カラー年賀状 ● その他一般印刷

〒650-0043 神戸市中央区弁天町1-1

TEL.078-371-7000 FAX.078-371-7001

[E-mail] win@dgdg.co.jp / mac@dgdg.co.jp

[URL] <http://www.dgdg.co.jp/>

「やさしい社会を明石から 明石市における福祉の動向について」講演会の感想

西中播磨かぞくねっと

赤穂精華園 保護者会副会長 村田 暉彦

昨年12月4日兵庫県民会館大ホールで、明石市長 泉 房穂様から 障害福祉の充実、やさしいまちづくり行政が、明石市の発展拡大につながっている現状とその取組みについて迫力ある熱い講演を90分間ときを忘れて傾聴いたしました。

特に強く印象に残った事柄は、市長の少年期に体験された「くやしい思い、もっとやさしい社会にしなくては」との熱い思いが現在の行政に反映されております。障害福祉政策を行政の中心に据える事がまちの発展拡大につながっており、特にこども施策の充実がまちの活気、賑わいをもたらし4年連続の人口増加→税収増等、好循環サイクルが生まれている現状に感銘を受けました。

私の明石市に対するイメージは「午線のまち、明石海峡でとれる明石鯛・明石だこ・あなご等魚の美味しいまち、姫路市と神戸市との中間に位置し、人口30万人弱の中間都市」程度の大ざっぱな知識しかありませんでしたが、明石市への関心が一気に高まりました。

明石駅からその南側にある駅前再開発ビル内の公共施設「パピオスあかし」周辺を歩いてみますと、パピオスあかしの2階は市民広場その隣には書店と文房具店、4階はフロア全部が市民図書館、5・6階のこども広場には沢山の子どもさんや赤ちゃんがお母さんと一緒にはしゃいでいます。しかも2階から南側に位置する「魚の棚」へは広い通路で直結しており、ひとの往来も多くベビーカーに子どもさんを乗せた若い奥様方に沢山出会いました。まちに活気があり、明るさと力強を実感しました。

全国的にも人口減少が続いている中で、4年連続人口増をもたらしている現実の特筆すべき事です。この度の講演を拝聴し、多いに元気と勇気をいただきました。今後の活動に前向きに取り組んで行きたいと決意を新たにしました次第です。

助け合えば力となる 互助の精神！！

一般社団法人 兵庫県知的障害者施設利用者互助会

◆ 入会金 10,000 円

◆ 保険料 12,000 円 (年間)

【入院保障保険の保証内容】

- 付添介護保険金(付添人) 日額 上限 8,000 円 (被保険者負担実費×付添日数)
- 付添保険金(家族) 日額 3時間以上12時間未満 (2,500 円×付添日数)
- 日額 12時間以上 (5,000 円×付添日数)
- 差額ベッド費用保険料 日額 上限 5,000 円 (負担実費×差額ベッド利用日数)
- 死亡保険金 保険証券記載の死亡保険金額 10,000 円

【 1 会計年度 (4/1~3/31) 90 日を限度・通算限度日数 900 日 】



互助会は、まだ知的障害者が入れる保険が無かったころ、入院した際に負担を求められる室料と付添いについての補助を目的に、助け合おうという相互扶助の精神で立ち上げた組織です。他の保険会社とは設立の志が違います。皆さんで守り育ててほしい組織です。

平成29年度 各地区のかぞくねっと活動報告

阪 神

会長 笹川 かほる

〈主な活動〉

- 評議員会 H29
 5/16 各施設の課題
 9/14 研修会開催について
 テーマを決める
 11/1 全国大会の報告
 7名参加
 12/18 研修会打ち合わせ
 H30
 1/18 研修会の最終確認&親睦会
 2/6 研修会
 尼崎市立小田公民館にて
 3/23 役員改選(会長)

〈研修会〉

- 日 時：2/9
 場 所：尼崎市立小田公民館にて
 参加者：102名
 テーマ：「障害者の未来は大丈夫です!？」
 M C：ななくさ育生園保護者会会長
 山口英治氏
 事前に各施設にアンケートをとりそれに沿って
 現在、みんなが心配している事はなにか？

医療について

(入所) 医療がない施設で子供が病気になったり、
 入退院を繰り返し、3か月以上長期入院になっ
 た時、身体が衰えて動けなくなった時、どのよ
 うになるのか？

(通所) 子供が倒れた時、高齢になり医療施設の
 ある安心して入所できるグループホームが欲し
 いが、そのような計画はあるか？…併設は難し
 いとの事。

介護保険について

Q：園から介護保険に変えて下さいと言われ、認
 定は5でしたが次の生活の場所が決まらな
 い。結局65歳問題なのですが、65歳になっ
 たら介護保険に移行しなければならないの
 か？ 介護保険になると障害者施設を利用で
 きないのか？

A：65歳になっても施設を利用できる。

通所について

Q：親が高齢になり送迎が出来なくなった時どの
 ようになるのか？

A：送迎サービスは施設等との関係で送迎できる
 方法を考えるべき。尼崎市は国の指針とおり。

Q：神戸市では送迎の時にヘルパーが使えるのに
 尼崎市では使えないのはおかしいと思う。

(P8に関連記事あり)

Q：親亡き後、すぐに入所施設に入れるのか？

A：無理。空きがない。

入所について

Q：施設で最後まで見届けて頂けるのか？心配。

A：見てあげたいけど、医療がないので限界はある。

結局、大丈夫ではなく、「今でしょう!」

一人ひとりが考え、行動すべき時です。

こうべ

会長 木村 三規子

障害のある方々の重度化・高齢化が進行していま
 す。又かぞくの高齢化も深刻です。

それに伴い施設の家族会存続にも危機感を感じま
 す。このまま何も活動しなくていいのでしょうか？
 国は「親亡き後」として地域生活支援事業を推奨し、
 障害者支援施設の定員削減を進めてきています。気
 が付くと親の願いからどんどん遠くなる福祉の後退
 今できることをもう一度確認し29年の活動をご報
 告します。

◇研修会

日 時：10月25日

場 所：あすてっぷKOBE

参加者：114名

・講演 「福祉の現状とこれから…」

講師 兵庫県健康福祉部障害福祉局局长
 関 孝和氏

・シンポジウム

テーマ「それぞれの立場で感じること」

コーディネーター 神戸市知的障害者施設連盟
 会長 松端 信茂氏

シンポジスト 兵庫県健康福祉部障害福祉局
 局長 関 孝和氏

ひょうごかぞくねっと会長 由岐 透氏

神戸光生園 家族会会長 野口 雄二氏

◇会長及び三役会（総会）

日 時：6月16日

場 所：総合福祉センター

参加者：47名

内 容：平成28年度事業報告・決算報告
平成29年度事業計画・会計予算案
情報交換・グループトーク

◇会長及び三役会

平成30年3月7日

内 容 平成30年全施連全国兵庫大会動員の
お願い

理事会 5/22 8/1 8/30 10/13 11/24 計5回

その他 5/19 神戸市自閉症協会総会
12/23 ジョイフルコンサート実行委員
ジョイフルアート 実行委員

東・北播磨・淡路

会長 吉岡 京子

〈主な活動〉

6/12 平成28年度活動報告・会計報告

平成29年度活動計画

場所：野口コミュニティ 15名

8/14 施設見学（内覧会）

場所：加西グループホーム大空 4名

10/3.4 全国大会（秋田）参加 11名

11/13 研修会について

場所：野口コミュニティ 15名

12/27 研修会の打ち合わせ

場所：希望の郷 4名

H30年

1/29 研修会

場所：稲美町加古福祉会 56名

理事会 4回 会長会2回

〈研修会〉

日 時：平成30年1月29日（月）

場 所：稲美町加古福祉会館

出席者：56名

加西市希望の郷蓬莱理事長・やすらぎ相談支援員濱垣隆之氏・大城戸公輔氏、小規模多機能型居宅介護事業所どっこいしょ所長小椋智子氏・グループホーム大空サービス管理者赤松善樹氏を稲美町にお招きし、加西市の福祉についてお聞きしました。午前は、濱垣氏大城戸氏からやすらぎ相談事業についてのお話しで、事務所を市役所の中に置き、福祉課

との連携を素早く出来るようにされたり、相談内容も最近問題の引き籠りや発達障害と生活に困り事のある人、障害手帳の有る無しに関わらず、障害の枠を超えた相談をされています。

午後からは、小椋氏が初めに「皆さんは 何処で、どんな死を迎えたいか」の問いかけから始まり、どっこいしょで取り組まれている利用者が望む看取りを伺いました。次に赤松氏より、一階輝き（生活介護）二階大空（グループホーム）の話伺いました。共同生活援助と生活介護の一体型は福祉法では認められていないが、利用者の利便性から施設が出来たそうです。

締めくくりに蓬莱理事より、法で決まるのではなく利用者が何を望むかで決まるとの思いから、行政とも色々交渉され利用者の思いを尊重し連携のとれた加西市の福祉ができたと思います。今回のお話を伺った講師の方々からも、その思いが伺えました。加西市での望む暮らし、望む看取りの体制作りが広がり、どこの地域でも親子が安心して暮らせる事を望みます。 当番園（こばと園家族会副会長 田尾）

西中播磨

会長 平山 昭利

29年度を迎えて、計画通りの理事会、保護者（家族）会会長会を、従来の姫路自治福祉会館から、姫路市野里の花北市民広場の会議室に会場を移して、開催してきました。

その際、ひょうごかぞくねっとの諸行事の周知徹底と、担当部会である組織強化の方策を議論して参りました。研修会等の機会を利用して、未加入家族会宛てに、参加要請のご案内とかぞくねっと加入を要請しておりますが、ほとんど返答がなく、手詰まり状態です。

有効的な方策として「ひょうごかぞくねっと」加入のための広報用チラシを作成してはどうかとの、意見を議題に載せていますが、今のところ具体的に検討会さえ設けられていません。怠慢の誹りを免れませんが早急に委員を選出して、次年度前半には作成、加入者増を図り、全施連全国大会（兵庫大会）の大成功につなげようと思います。

課題もしくは、懸案事項として、活動予算措置をどうするか大きな問題です。かぞくねっと全体で一考をお願いします。

29年度、西中播磨かぞくねっと研修会は10月18

日姫路市総合福祉通園センター内、障害者体育館で開催されました。

主催者側・来賓挨拶のあと、地域支援センター あいあむ センター長 濱口直哉氏による基調講演「子どもたちの未来に向けて今何が必要か？～いくつかになっても自分らしく生きるために～(65歳問題も含めて)」の講演を、現今、切実な問題として受け止め、研修いたしました。午後は、新装された施設を見学、最新設備が整った環境に目を見張りました。約120名の参加者で盛況のうちに幕を閉じました。

〈主な活動〉

理事会

4/26 5/24 7/19 7/26 9/27

H30 2/9 2/21

会長会

5/24 7/26 9/27 H30 2/21

臨時打ち合わせ会 5/9 1/23

〈研修会〉

平成29年10月18日(水)

場 所：姫路市ルネス花北障害者体育館

担当施設：姫路市総合センター

但馬・丹波

会長 三浦 雅春

加入施設6施設と小さなかぞくねっとですが、平成28年から京都府の介護施設をターゲットに、施設見学を実施してハードルの高い京都の牙城に挑んで、一ヶ所でも多くの施設を増やす目標達成に向かって活動を継続しています。

今年は中央研修会でも10名以上の方が参加、研修会でも73名の方が参加、少しは私達の活動が向上したのかなと感じています。

〈研修会・施設見学〉

10月17日 みずなぎ苑(京都府舞鶴市八田)

参加24名

11月4日 但馬・丹波かぞくねっと研修会

場 所：琴弾の丘(養父市大屋町)

参加者：73名

午前中は講演会

演題「成年後見人制度の活用術」

講師 馬場 佳代 氏

午後からは、4年前からの三浦会長の発案で、利用者の方に歌やピアノを披露していただきま

した。出席された皆さんが、利用者の方々と一緒に楽しめる様に、より多くの皆さんが参加される様にと考えた成果が出たのかなと思っています。利用者の皆さんと会場の家族で大変盛り上がりました。その中でも利用者の女性のピアノ演奏には拍手が鳴りやみませんでした。



◀但馬・丹波研修会



◀琴弾の丘、皆さんと一緒に歌った



◀利用者のピアノ演奏

〈主な活動〉

理事会

4/8 7/15 8/26 H30 1/26 3/17

10/7 研修会打ち合わせ

参加者 71名

在宅・通所利用の人たちがかかえる現状

福祉法人尼崎武庫川園第2松の園
寺澤 節子

- 親が倒れた時、子供はどうなるのか？（緊急一時）
- 親が高齢になり、送迎が出来なくなってきている。
- ショート・ステイをもっと増やしてほしい。
- 親・子供が高齢になり、自立に向けてグループ・ホームや医療のついた、安心して入れる施設が身近で欲しい。
- 平成30年度に法律改正で通所の給食費の補助や送迎の補助が廃止になるとの事が心配。（この事は心配しておりましたが、現行のままです）
- 親亡き後の事が心配。

親が今一番困っている事・何を望んでいるか？のアンケートをもとにして、阪神かぞくねっとで取り上げました。

我が法人は身体障害者施設、特別養護老人ホーム、知的障害者施設（入所施設2施設95名、通所施設2施設95名）の6施設を運営しています。

これを見て恵まれていると思われては困るのですが、入所施設があるので親が倒れた時にすぐ入所させてもらえるのは大きな間違いで入所に空きがない限り無理で、ショート・ステイが男子2床、女子2床で今は対応してもらっておりますが、これはあくまで一時凌ぎでしかありません。親が高齢になってきているのでいつ何時倒れるかわからないので、対応出来なくなるのも目に見えている現在です。

次に通所するに避けては通れない問題点、尼崎武庫川園という名前ですが尼崎市ではなく西宮市にあるので当初より全員通園バス3台、バン2台で送迎して頂いていますがそのバス停までもが行けなくなってきて

いるのが現状です。何とかバス停までガイドヘルパーが使えればとおもい、尼崎市にも聞いてみましたが、それは丸ごと地域支援の一環の問題ではなく、法人との問題といわれ交渉の余地もありませんでした。神戸市は何年も前から使えているのに…と地域格差があると実感しました。ドアからドアがベストなのですが。

これもこれからの課題ですし、私たちが法人ばかりを頼るのではなく、子供たち将来に向けて保護者会で話し合い、親が元気な間に子供の将来を考えて欲しいし、今一番何が必要か？どう行動を起こすべきか？一歩前進しようと思っています。

何とかなる！園が放っておかない！行政が何とかしてくれ！そんな時代は終わったのです。

親が楽になる事を考えるのではなく、この子にとって何が一番幸せになれるのか？ひとり一人もう一度考えてみて下さい。



2017.12.21 都ホテルニューアルカイツにて

事業所の送迎に移動支援は使えるか

H27年7月14日社会保障審議会障害者部会の資料

- 移動支援と介護を一体的に供給する必要がある一定程度以上の重度障害者については、同行援護、行動援護、重度訪問介護、居宅介護（うち通院等介助、通院等乗降介助）といった「個別給付（義務的経費）」でサービスを提供（マンツーマンでの対応）。
- その他、利用者の個々のニーズや状況に応じた柔軟な支援や複数の者に対する移動の同時支援（グループ支援）などを行うため、市町村を実施主体とする「地域生活支援事業（裁量的経費）」（移動支援事業）としてサービスを提供（マンツーマン、複数の者、いずれの対応もあり得る）。
- 個別給付については、障害者の社会参加の促進、地域での障害者の自立した生活を支える上で重要であるが、これらの制度の趣旨や人員・財源の制約などから「通勤・営業活動等の経済活動に係る外出、通年かつ長期にわたる外出及び社会通念上適当でない外出」は対象外としている。

- 尼崎市・西宮市・芦屋市の担当者は「利用者と事業者との問題であり、市としては送迎に移動支援は利用はできない」と回答した。
- 神戸市は「送迎者が入院や出産などで送迎が困難な時に区役所にて聞き取り、特例として認められた場合のみ短期間移動支援の利用が認められている」との答えだ。
- こうべかぞくねっとの利用者の中には、送迎の間に余暇活動や社会参加行事を入れて、移動支援を利用している。（例：通所施設へヘルパーが迎えに行き、カラオケを楽しんで自宅まで送る等）
- 加古川市では、日中一時支援（地域生活支援事業）を使って、「散歩」などをはさみながら送迎にも移動支援が利用できている。
- 地域生活支援事業の移動の目的は「社会生活上必要不可欠な外出、社会参加のための外出」だが、具体的な取扱いは、各市町村の判断とされているため格差が出てきていると考えられる。

全国知的障害者施設家族会連合会報告

★第13回全国知的障害者施設家族会連合会全国大会 秋田大会

10月3日～4日 秋田キャッスルホテル

『新しい生活の場を語ろう!』

障がいのある方々の重度化・高齢化と共に家族の高齢化も深刻で、在宅で我が子を支えることが困難になってきています。

我が子の将来を悲観して心中するなどの悲惨な事件も後を絶たない状況です。さらには障害者をめぐる人権侵害や虐待、痛ましい殺傷事件も起きてきており、障害者を取り巻く環境は厳しさを増してきている状況です。24時間、365日、どんなに障害が重くても、高齢になっても、本人、家族が安心して生活ができる場を作ることが急務となっています。

国は「親亡き後」の対策として地域生活支援事業を推奨し、障害者支援施設の定員削減を進めてきています。しかし、重度化・高齢化の深刻さから、障害者支援施設におけるセーフティネットは欠かせず、障害者支援施設が地域生活を支える拠点として、その役割がますます求められてきています。

私たちはこの大会を通して障害者の権利を守り、意思決定支援や、安心して生活ができる場の構築をしていきたいと決意を新たにすることができました。

この大会には402名（兵庫より52名）が参加し、全施連顧問の北九州市立大学小賀久氏をコーディネーターとして家族の置かれている状況や施設の取り組みの発表を軸に有意義な討議がなされました。

また、今年は厚生労働省より片桐公彦虐待防止専門官・障害福祉専門官を招き、講演も行いました。ひょうごより大勢のご参加、ありがとうございました。



★第5回社員総会&H29年度第1回理事会

6月13日～14日 新大阪ガーデンプラザホテル

H28年度事業・会計報告 H29年度事業・会計計画

H29年度・30年度役員改選

★第2回 理事会

9月4日～5日 新大阪ガーデンプラザホテル

今年新設した常任委員会の進め方や各部会の活動計画及び報告等について熱心に討議された。

★第3回 理事会

10月4日 全国大会後

全施連組織と活動・PT会議について・500万円募金等について討議された。

★第4回 理事会

H30年3月12日～13日 新大阪ガーデンプラザホテル

H29年度各ブロックからの計画の進捗状況・PT会議進捗状況・H30年第14回全国大会進捗状況等について

★PT会議Ⅱ

- 平成30年1月15日(月)～16日(火) 博多ビジネスセンターにて開催。提言Ⅱ発行へ向けて白熱した議論がなされた
- 平成30年3月29日(木)～30日(金) 9時～12時 神戸市立総合福祉センターにて開催予定

★全施連研修会

H30年1月27日(土) 鹿児島大学法科大学院教授 伊藤周平氏に「我が事・丸ごと・地域包括ケアシステムと介護保険・障害者福祉のゆくえ」と題してご講演いただきました。全施連及びひょうごかぞくねっとより50名の参加を得、研鑽を深めることができました。障害を持つ人・幼児・低所得者等々社会的弱者は、ますます生きにくくなると警鐘を鳴らされました。詳しくは全施連ホームページに掲載していますのでぜひお読みください。

★500万円募金は4,929,996円(兵庫は1,383,692円) 集まりました

ご協力ありがとうございました。PT会議Ⅱによる提言の作成に活用させていただきます。

第14回一般社団法人全国知的障害者施設家族会連合会全国大会

1. 日 時：平成30年10月23日(火)～24日(水)
2. 場 所：神戸舞子ピラ(JR山陽本線 舞子駅徒歩10分)
3. 大会参加費 6000円 交流会 7000円
 ※詳しくは後日施設家族会を通じてお知らせいたします。
 ※地元開催ですので、できるだけ大勢のご参加をお待ちしております。また、大会運営のお手伝いもよろしくお願いいたします。

知的障がい・発達障がい・ダウン症・てんかんのある方のために
ぜんち共済ができること。

<p>ぜんちの あんしん保険 <small>東京海上日動の個人賠償責任補償付 少額短期健康総合保険(無告知型) 2016年創設</small></p>	<p>知的障がい・発達障がい ダウン症・てんかんの ある方のための保険</p>	<p>ぜんちの こども傷害保険 <small>東京海上日動の個人賠償責任補償付 権利保護補償付傷害保険(2016年創設)</small></p>	<p>特別支援教育を 必要とされている方の ための保険</p>
<p>病気やケガでの入院</p>	<p>虐待・差別・逮捕に 対応</p>	<p>日常生活でケガを することが多い…</p>	<p>トラブルに巻き込まれた際、 誰も助けてくれない…</p>
			
<p>最高日額1万円</p>	<p>弁護士費用補償</p>	<p>入院・通院を日額保障</p>	<p>当事者同士での 解決が難しい…</p>
<p>※(総合生活保険(個人賠償責任補償))引受保険会社:東京海上日動火災保険株式会社</p>		<p>弁護士がサポート</p>	<p>示談交渉サービス付き</p>

詳しい資料のご請求・お問合せは下記までお気軽にどうぞ

※ご契約にあたっては必ず「ご契約に際しての重要事項」「約款」東京海上日動の「重要事項説明書」をよくお読みください。ご不明な点等がある場合には、ぜんち共済株式会社までお問い合わせください。

<代理店>

株式会社 **グッドアシスト**
 TEL 078-926-0199
 〒651-2146 神戸市西区宮下1-16-10

ぜんち共済株式会社
ZENCHI 関東財務局長(少額短期保険)第14号
 〒101-0032 東京都千代田区岩本町三丁目5番8号岩本町シティプラザビル5F
コールセンター ☎ **0120-322-150**
ぜんち共済 検索 http://www.z-kyosai.com/



[2017年12月作成 17-T08668]

第14回 全国知的障害者施設家族会連合会



全国大会 in ひょうご 今から始める第一歩



～福祉の後退を許さない～

「我が事・丸ごと」地域共生社会のしくみで
知的障害をもつわが子らは
真に幸せな生涯がおくれるのでしょうか
さまざまな局面から考え、話し合しましょう

日時 平成30年10月23日(火)～24日(水)
会場 シーサイドホテル舞子ビラ神戸
会費 6,000円(情報交流会7,000円・宿泊費別)



大会事務局（お問合せ）

一般社団法人 全国知的障害者施設家族会連合会事務局
兵庫県知的障害者施設家族会連合会事務局(ひょうごかぞくねっと)

〒 651-0016 神戸市中央区橘通 3-4-1 神戸市立総合福祉センター2階

電話 078-371-3930 FAX 078-371-3931

URL <http://zenshiren.web.fc2.com/index.html>

Email h-kazoku-net@alpha.ocn.ne.jp

丹波・但馬かぞくねっと

「親の想い」

* 毎日が連想ゲーム！ 息子をよろしく！ *

恩鳥福祉会 保護者会 前田 永子

「晋ちゃーん、もっと小さい声で！」

「晋ちゃーん、一回で終わり。頼んだよ。」

これが私が毎日口にしてる言葉です。

私の息子晋太郎は25才。重度の知的障害のある自閉症です。こだわりが強いし、会話は成立しません。でも気に入った言葉、奇声をよく通る大きな声でくり返します。叫んでいる時もあります。ストレスが溜まってる時、退屈な時、嫌なことを思い出した時、あれだけしゃべったらしんどいやろなと思う程です。

小学生になるまでは、じっとしておられずウロウロしてたので奇声はありませんでした。でも今じっとしていなければダメだと理解でき始めた頃から奇声、独り言が始まりました。

成長するにつれ大胆になってきてます。家族であっても我慢するのが大変しんどい時があります。施設でお世話になっている支援員さん、利用者さんにも一杯我慢してもらっているのだと思うと申し訳ない思いで一杯です。これさえ無ければ本人も周囲の人ももっと楽になれるのではと思います。

できるだけストレスを溜めさせないように、迷わないように少々考えこむかもしれませんが家の中には理解できる言葉を書いたテープ、シールがいっぱいです。お風呂、トイレ、冷蔵庫他、触ってほしくない物に×つけて、目印だらけ、それがうちではあたりまえとなっています。

晋太郎ならこんな時どう思うか、行動するか想像しながら、又、晋太郎が口にする言葉は何を意味するのか連想しながら、そう、毎日が連想ゲームだと思っようようにしています。

施設ではいろいろ気分転換を考えて頂き、行事の他に外食や、ホームセンターへ買い物に行ったり変化を作ってもらいたいんです。支援員さんにも毎日想像、連想してもらっているんでしょうね。

又、奇声の多い晋太郎ですがこんな事がありました。実母が介護状態の時、出会いに行った帰り、私は車の中で泣いていましたすると隣の晋太郎が優しく、小さい声で「泣いたらあかん」と言ってくれた事がありました。驚きました。別人かと思いました。私の悲しい気持ちを理解してたんです。その時ふっと想像しました。晋太郎だってつらい事一杯あるだろう。そんな時、自分も心の中でもしかしたら「泣いたらあかん」と言っているのかもしれないと。

こんな晋太郎のためにも施設の皆さんに助けを頂き私も元気に長生きしたいと思います。そして、私は泣き虫なので、又泣いていたら晋太郎に言ってもらいたいです。「泣いたらあかん」…と。

リレー随筆

「自閉症の息子」

神戸光生園家族会
会長 野口 雄二

昭和54年の夏、息子が誕生しました。どちらの親にとっても初孫でした。難産で妻は大変な思いをしましたが、男子誕生に皆が喜んだ事でした。

歩き出した時期は普通だった為、何の心配もしていませんでしたが、3歳くらいになっても言葉が出ない為、泣きながら嫌がる息子を保育所に行かせたりもしました。当時、自閉症の知識もなく、どうすれば良いのか悩みました。

脳波を撮っても異常はなく、どうしようもありませんでした。それでも、言葉の教室等どんなに遠くても妻は頑張って通いました。残念ながら今でも発語はありません。

小学校、中学校と支援学級に通いました。高校は養護学校でした。先生の指導で、陸上部に所属しました。練習で隊列になって走る姿を思い出します。山陽自動車道開通や明石大橋自動車道開通のマラソンに参加し完走しました。障害児を普通の子のように指導されていた先生方を見て、感心した事を思い出します。自転車、バス、電車と自立通学をして安定していた時期でした。

卒業して、神戸光生園にお世話になりました。当時5年後には、他を探さなくてはいけない時代でした。その後、制度も変わり光生園に19年もお世話になっています。歴代支援員の皆さんのお蔭で、園は自分の居場所と思っているようです。

私は転勤族だった為、60歳になって神戸に戻り、65歳で退職しました。妻から、家族会で皆さんが苦勞されているので、お手伝い出来ないかと言う話があり、会長を引き受ける事に



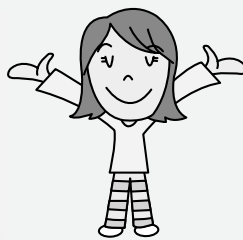
しました。

家族会の会長をして、高齢化もあり、皆さんが親亡き後の心配をされているのが、良くわかりました。兄弟のいない息子を持つ我が家も同様です。

こうべかぞくねっとの研修で、障害者福祉制度の歴史や内容を勉強させてもらいました。障害者福祉制度は大きく変わろうとしています。福祉も格段と良くなった点もあるかとは思いますが、素直なところ意外と無関心の方も多いかと思います。福祉も格段と良くなった点もあるかとは思いますが、ただ、国の財政問題もあり、65歳問題に代表されるように、今後相応の負担を求められるのは、必然的な流れかと感じています。その時、親が健在であれば子供を守れると思いますが、親亡き後は国にお願いする事になります。その為に、少しでも親の願いを聞いて頂けるよう、声を届ける必要があると思います。その場として、ひょうごかぞくねっとの活動に関心を持たれ、応援される事は一つの方法かと感じているところです。



わたしたちの がんばり



26

社会福祉法人 あかりの家 ワークホーム高砂

「働くなかでたくましく！」を合い言葉に



ワークホーム高砂は、就労継続B型事業と生活介護事業の多機能型事業所です。現在男性33名、女性10名、計43名の方が利用されています。「働く」を軸に一日7時間、クリーニング作業と納豆の生産販売を行っています。

クリーニング作業では企業（ゴトウ・アズ・プランニング社）と連携を図りながら、病院リネンのクリーニング作業を行っています。納豆作業では大粒納豆「なっとこちゃん」の名称で地域の方にご協力いただきながら生産販売しています。



クリーニング作業班 ～製品にこめる責任感～

クリーニング作業では、企業と連携を図り医療関連サービスマーク認定工場として病院リネンのクリーニングを行っています。シーツの生産ラインには大型機械を設置し機械作業をはじめ、製品の仕上げ業務の全てを利用者さんが担っています。また、タオル生産ラインでは、タオル畳みから製品検品、仕上げ包装を行うとともに、入院患者さんの個人の洗濯の仕分けから包装まで全ての工程を利用者さんが担っています。



大型機械にボイラーを使用していますので夏場にはとても暑く、汗をぬぐいながらの作業ですが、出荷する製品に責任を持ち日々取り組んでいます。責任感はやがて自分たちの誇りとなり、またそれがやりがいへと繋がっていく。「働く！」を軸とした事業所です。

納豆作業班 ～工賃アップを目指して楽しく仲良く～

北海道産の大きな大豆で納豆づくりを始めて5年、ようやくふっくらモチモチの美味しい納豆が安定的に生産できるようになりました。作業チームは自閉症とダウン症の利用者6名が作業に携わっています。大豆のカップ入れや皮膜張り、製品化に向けたラベル張りやスーパーへの配達など全工程をみんなで行い、スーパーYamadaさんのご協力をいただき試食販売も定期的に行っています。現在は3種類の大粒納豆を生産・販売していますが、もうすぐ小粒納豆も販売する予定で、工賃アップをめざして楽しく仲良く納豆作業を進めていきたいと思えます。



働く合間の息抜き

働くことを軸に頑張っているワークホーム高砂ですが、そんな中でもちょっとした息抜きで気持ちをリフレッシュすることも大切です。ワークホーム高砂のちょっとした息抜きを紹介します。

サークル活動

水曜日は15時で作業を終了しサークル活動を行っています。スポーツ系サークルではサッカーをするチーム、縄跳びに励むチーム、ウォーキングしながら写真を撮るチームに分かれて活動しています。



文科系サークルは施設内に季節に応じた装飾創りや、花壇の植栽などの園芸活動をしています。

料理教室

月に一回、自立を目的とした料理教室をボランティアさんのご協力の下行っています。



一泊旅行

本年度は名古屋に利用者さん全員で行きました。露天風呂に大宴会、水族館などを満喫した二日間でした。



H30年度
ひょうごかぞくねっと活動予定

※全施連の活動

月	日	曜日	行事	内容	場所
4	11	水	第6回実行委員会	全国大会進捗状況確認	福祉センター
4	11	水	第1回正副会長会		事務所
5			29年度会計監査		事務所
5	9	水	第2回正副会長会		事務所
5	16	水	第1回理事会		福祉センター
6	22	金	評議員会	ひょうごかぞくねっと総会	未定
6※	11~12	月~火	全施連社員総会	総会・年間計画	大阪市
7	4	水	第3回正副会長会		事務所
7	18	水	第2回理事会		福祉センター
9	5	水	第4回正副会長会	全国大会打ち合わせ	事務所
10	23~24	火~水	全施連全国大会	行政報告・記念講演・交流会・討論会	舞子ピラ神戸
1	9	水	第5回正副会長会		事務所
2	8	金	第3回理事会	30年度活動報告・31年度に向けて	福祉センター

おすすめ 互助会 + チャブ保険 (旧エース保険)

◆エース保険の社名が変更になっています。

(新社名) Chubb 損害保険株式会社 略称: チャブ保険

世界最大級のスイスの保険会社エース・リミテッドがチャブ保険を買収し、チャブ・リミテッドに改名することになりました。保険内容・手続きについての変更はありません。

担当は
出雲保険 ウェルフェア事業部
清水 由美
03-5332-3960

エターナル
濱中 恭
078-241-4201

《例》	保険料	ケガ入院 (1日)	7日間入院した場合
互助会	12,000 円	付添婦 8,000 円 個室使用料 5,000 円	8,000 円×7= 56,000 円 5,000 円×7= 35,000 円
チャブ保険 (Cプラン)	6,520 円	1,400 円	1,400 円×7= 9,800 円
合計金額	18,520 円	14,400 円	7日間 100,800 円

知的障害者福祉総合補償制度

【兵庫県知的障害者施設家族会連合会】専用プラン

補償内容	Aプラン	Bプラン	Cプラン
年間保険料	11,730 円	9,730 円	6,520 円
ケガ入院保険金 (1日) 180日限度	2,900 円	2,700 円	1,400 円
ケガ通院保険金 (1日) 90日限度	1,900 円	1,600 円	800 円
後遺障害保険金 (最高)	188 万円	181 万円	187 万円
死亡保険金	188 万円	181 万円	187 万円
賠償責任補償 (限度額) 1回の事故について	5,000 万円	3,000 万円	3,000 万円

★何度、物を壊しても制限なく補償します!
★死亡保険金も大きな特徴です!!



兵庫県知的障害者施設家族会連合会

〒650-0016 神戸市中央区橋通3-4-1
神戸市立総合福祉センター2F
TEL.078(371)3930 FAX.078(371)3931
mail : h-kazoku-net@alpha.ocn.ne.jp

事務局 (月~金 9:00~17:00)
※9月より受付時間が変更になりました。担当: 上田

全国知的障害者施設家族会連合会(全施連)ホームページ
URL : <http://zenshiren.web.fc2.com/>

編集後記

4年に1度のピョンチャンオリンピックが開催されました。日本はメダルラッシュに大にぎわいで感動しました。パラリンピックも始まり頑張ってもらいたいと思います。障害者をとりまく状況はきびしい状況におかれています。子供たちにとっても生活しやすい世の中になってほしいものです。(K.S.)

《表紙題字 芝 貴弘 氏 (尼崎武庫川園)》